

国包の歴史学ぼう

12日と来月12日 講演や講演

加古川

加古川市上荘町国包 12日と3月12日、伝統た地元の歴史などを学地区の住民らでつくる 工芸「国包建具」や加古川「新春セミナー」を「国包げやきの会」が古川の舟運などで栄え 国包公会堂(同町)で開く。



同会は地域おこしを目的に一昨年7月に発足し、会員は現在約70人。秋に国包建具などを展示する「国包伝統文化祭」を、この時期に講師を招いてセミナーを開いている。

12日は午前10時から、市立松風ギャラリー館長の岩坂純一郎さんが「加古川と国包の歴史に学ぶ」をテーマ

セミナーをPRする藤原忠悟会長(中央)と国包げやきの会のメンバーら。加古川市上荘町国包

セミナーをPRする藤原忠悟会長(中央)と国包げやきの会のメンバーら。加古川市上荘町国包

に講演するほか、加古川音楽家協会会員の粉河優子さんがバイオリンを演奏する。3月12日は午後1時から、同市出身の講師、旭堂南海さんが「おもしろ国包講談・加古川の舟運と鉄道ものがたり」と題して話す。

藤原忠悟会長(66)は「過去の中に未来があると思う。地域を文化で光らせたい。年齢を問わず来てもらい、世代間交流の場にもなれば」と話している。両日とも入場無料。松本さん ☎079・438・7038 (伊丹昭史)